

令和5年度
学校だより

狩場子

神戸市立狩場台小学校
2月号

狩場台小ホームページ <http://www2.kobe-c.ed.jp/krb-es/>

備えよ常に



29年前の1月17日の朝、大きな地鳴りと激しい揺れに目を覚ました私は、余震におののきながらも、幼い娘を抱き、いつでも逃げ出せるようにと玄関付近で過ごしたことを今も忘れることができません。今年の元旦の夕方、能登半島地震のときも、当時を思い出し、とても怖かったです。未だに多くの方々が避難生活を余儀なくされ、道路やインフラなどの復旧が遅々として進まない状況を歯がゆく思い、現場で奮闘されている多くの方々の努力に頭の下がる思いです。子どもたちには、折に触れそんな石川県の様子を伝えています。今年の1月17日に行われた避難訓練の際にも、もしも、自分が災害に見舞われたらどうしたらよいのかを「ともに」考えました。

巻頭の「備えよ常に」は、ボースカウトの合言葉です。「いつ何時、いかなる場所でいかなることが起こった場合でも、善処ができるように、常に準備を怠らないようにしましょう」という意味です。地震に限らず台風被害やコロナウイルス感染症のパンデミックなど今後も予測不可能な事態に陥る可能性は否定できません。そのためにも、「備えよ常に」ということを実践していきたいものです。特に子どもたちの「心・技・体」を育てていきたいと思っています。

「心」とは、不測の事態に陥っても冷静さを失わない心の強さ・困っている人に対する思いやりのことです。「技」とは、生き抜くための技術や知恵を持つことです。「体」とは、いつもとは違う環境においてもある程度耐えられる体の強さがあるということです。これらを少しずつ年齢に応じて育てていくことで、豊かな心をもったたくましい子どもに成長していくのだと思います。

先日は授業参観・引き渡し訓練に多くの方が参加してくださり、ありがとうございました。各学年に応じて防災学習を行いました。天災はいつやってくるか分かりません。来ないかもしれませんが明日来るかもしれません。授業を通して学んだことや、新聞・テレビの報道で得た情報をもとに、ぜひ、ご家庭でももしもの時に備えて準備をしておくなり心構えを話して聞かせておくなりしていただけたらありがたいです。

さあ、もうすぐ節分です。子供たちが自分の心の中にある鬼を追い出して、しっかりと成長を遂げ、次の学年に胸をはって進級できるように期待しています。立春が来れば暦の上ではもう春です。次のステップに向けて「備えよ常に」を心掛けていきたいものです。

校長

